

MOOER

GL100

**GROOVE LOOP SERIES
PHRASE AND DRUM STATION**

Owner's Manual

目次

ご使用上の注意	2
特徴	2
コントロールと接続	2
接続例	4
モノラル接続	4
ステレオ・デュアルチャンネル接続	4
ドラムマシンと楽器を独立して出力	5
機能の説明	6
基本のルーパー操作	6
ストレージの選択	6
ループを録音する	6
キャンセル	7
アンドウ・リドウ	7
保存	7
基本のドラムマシン操作	9
ドラムマシンの再生・停止	9
ドラムマシン音量の簡単な調整	10
完全なフレーズループの録音	10
AUTO REC	11
カウントイン	12
ドラムマシンとフレーズループのアライメント・クオンタイズ	13
ドラムマシンのオートマッチング	14
タイムストレッチ	16
演奏中のポジションジャンプ	17
セッティング	18
1. Capacity	18
2. Play Mode	19
3. Stop Mode	19
4. Input Setting	20
5. Drum Out	20
6. DrumMatch	20
7. Reset	20
使用例	21
シナリオ 1: フレーズルーパーのみを使う	21
シナリオ 2: ドラムマシンのみを使う	21
シナリオ 3: ドラムマシンとフレーズルーパーを同時に使う	21

MOOER STUDIO FOR GL100.....	23
システム要件.....	23
接続.....	23
ソフトウェアインターフェイス.....	24
利用可能な機能.....	25
ループトラックを聴く.....	25
インポート・エクスポート.....	25
インポート.....	25
エクスポート.....	26
フォーマット.....	26
オーディオトラックの削除.....	26
ファームウェアアップデート.....	27
ファクトリーリセット.....	28
ドラムマシンリズムリスト.....	29
スペック.....	32

ご使用上の注意

ご使用前に必ずお読みください。

電源

- 電源は付属のセンターマイナス DC9V、300mA アダプターをご使用ください。
- 電源は必ずご使用の地域の法規や規格に合わせたものをご使用ください。
- 使用しないときや雷雨のときはアダプターを本体から抜いておいてください。

接続

- 機器との接続や取り外しを行う際は、必ず電源を OFF にして行って下さい。電源を入れたままで接続や取り外しを行うと、機器が損傷する場合があります。
- 移動や持ち運びを行う際は、本体から全てのプラグを外して下さい。

ご使用環境

変形や変色など、損傷を避けるため、下記の環境での使用はお控え下さい。

- 直射日光の当たる場所
- 磁場の強い場所
- 高温多湿な環境
- 湿度が極端に高い場所
- 埃の多い場所や汚れのひどい環境
- 強い揺れやショック

他の電子機器による干渉

- ラジオやテレビなどの近くで本機を使用すると、電波による干渉を受けることがあります。ご使用の際はラジオやテレビなど、電波を発したり受信する機器の近くで使用しないで下さい。

クリーニング

- クリーニングを行う際は、柔らかく乾いた布を使用してください。必要であれば、少し湿らせた布を使います。
- クレンザーやアルコール、ペイントシンナー、ワックス、ソルベント、洗剤、また化学物質を含んだクロス等は使用しないで下さい。

運用

- スイッチやコントロールを無理に動かそうとしないで下さい。
- 本体の内部に紙や金属片、その他のものを入れないで下さい。
- 本体を落したり、衝撃や圧力をかけないようにご注意下さい。
- 許可なく改造を行わないでください。
- 修理が必要な場合はお買い上げいただきました楽器店にご連絡ください。

特徴

- デュアルフットスイッチステレオフレーズルーパーとドラムマシンを融合
- 100 種類まで、合計 300 分までのフレーズループを保存可能
- ドラムマシンとフレーズループを完璧に同期させるアライメント機能
- フレーズの内容に合わせてドラムマシンのリズムパターンとテンポを合わせられる DrumMatch 機能
- 1.3 インチタッチスクリーンによる高い操作性
- 専用 PC ソフトウェアでオーディオファイルのインポートとエクスポート、データ管理、ファームウェアアップデートが可能
- 多彩なインプット・アウトプットモード
- タイムストレッチ機能
- タップテンポ機能
- オートレコーディング機能
- ヘッドフォンアウト搭載

コントロールと接続



1. **LOOPER:** ルーパーの音量を-∞(ミュート)から+6dB まで調整します。ドライビングナルとのバランスを調整できます。
2. **MENU:** メニュー画面のナビゲーションや値を調整するエンコーダーです。
 - 回してストレージを選択します。
 - 長押しでフレーズループを保存します。
 - メニュー画面では押して項目の選択/解除を、回して値の変更を行います。
3. **1.3 インチラウンドタッチスクリーン:** 様々なステータスや機能を設定するメニューを表示します。
 - 画面中央をタップしてメインインターフェイスとルーパーインターフェイスを切り替えます。
 - メトロノームアイコンをタップして BPM スクリーンを開きます。
 - ドラムアイコンをタップしてドラムスクリーンを開きます。
 - 戻るアイコンをタップすると前の画面に戻ります。

4. **AUTO REC:** シグナルを自動検出して録音を開始する AUTO REC の ON/OFF ボタンです。ボタン LED が AUTO REC の ON/OFF を示します。また、このボタンを押したまま MENU ノブを回すことでシグナルを検出するスレッシュホールドを調整できます。
5. **TAP:** このボタンを 3 回以上タップすることでテンポを設定します。設定されたテンポはディスプレイ下部に表示されます。
ボタンの LED がテンポに合わせて点滅します。各ビートの最初のストロークが赤、他のストロークが青で点滅します。(基本のドラムマシン操作を参照)
このボタンを 2 秒以上長押しすると BPM スクリーンが開き、MENU ノブでテンポを微調整できます。
6. **DRUM:** このボタンを押すとドラムマシンがスタンバイします。スタンバイ中はボタン LED が紫に高速点滅します。
ドラムマシンがスタンバイモードでループのレコーディングを開始すると、ドラムマシンとルーパーが同期します。(ドラムマシンとフレーズルーパーを同時に使うを参照)
ループ再生中に DRUM ボタンを押すと、ドラムマシンの ON/OFF が切り替わります。ドラムマシン実行中は LED が点灯します。
DRUM ボタンを長押しするとドラムマシンメニューが開き、MENU ノブで GENRE、TIME、SIGNATURE、LEVEL、BPM などのパラメータを調整できます。DRUM ボタンを押したまま MENU ノブを回してドラムマシンの音量を調整します。
7. **左フットスイッチ:** フレーズループモード時:録音、再生、オーバーダブ、長押しでキャンセル、アンドゥ、リドゥができます。
8. **右フットスイッチ:** ストレージが空の状態です。右フットスイッチを数回押すと、ドラムマシンが起動し、同時にタップテンポが入力されます。ドラムマシンが再生された後、右フットスイッチをもう一度押すと停止します。
録音されたループが保存されている場合、右フットスイッチを長押しするとクリアされます。右側のフットスイッチと MENU ノブを同時に長押しすると、全てのループが削除されます。
- 右と左のフットスイッチを同時に押すと、ストレージポジションセレクトモードが開きます。(ディスプレイが点滅します) このモードでは左のフットスイッチでストレージ位置を下に移動し、右のフットスイッチで上に移動します。数秒間フットスイッチ操作がなければ、このモードは自動的にキャンセルされます。
9. **Left インプット:** 6.35 mm (1/4") モノラル (TS) ジャック、モノラルの場合はこの端子を使用します。ステレオの場合は L チャンネルとして使用します。
10. **Right インプット:** 6.35 mm (1/4") モノラル (TS) ジャック、ステレオの場合は R チャンネルとして使用します。
11. **Left アウトプット:** 6.35 mm (1/4") モノラル (TS) ジャック、モノラルの場合はこの端子を使用します。ステレオの場合は L チャンネルとして使用します。
12. **Right アウトプット:** 6.35 mm (1/4") モノラル (TS) ジャック、ステレオの場合は R チャンネルとして使用します。
13. **USB Type C インターフェース:** コンピューターと接続してデータのインポートとエクスポート、ファームウェアアップデートを行います。
14. **電源:** センターマイナス DC9V (2.1mm バレルタイプ)、300mA 以上のアダプターを接続します。他のデバイスからのクロストークノイズを防ぐため、付属のアダプターを独立したコンセントで使用することを推奨します。
15. **PHONES:** 3.5 mm (1/8") TRS ステレオヘッドセットアウトプットジャックです。

接続例

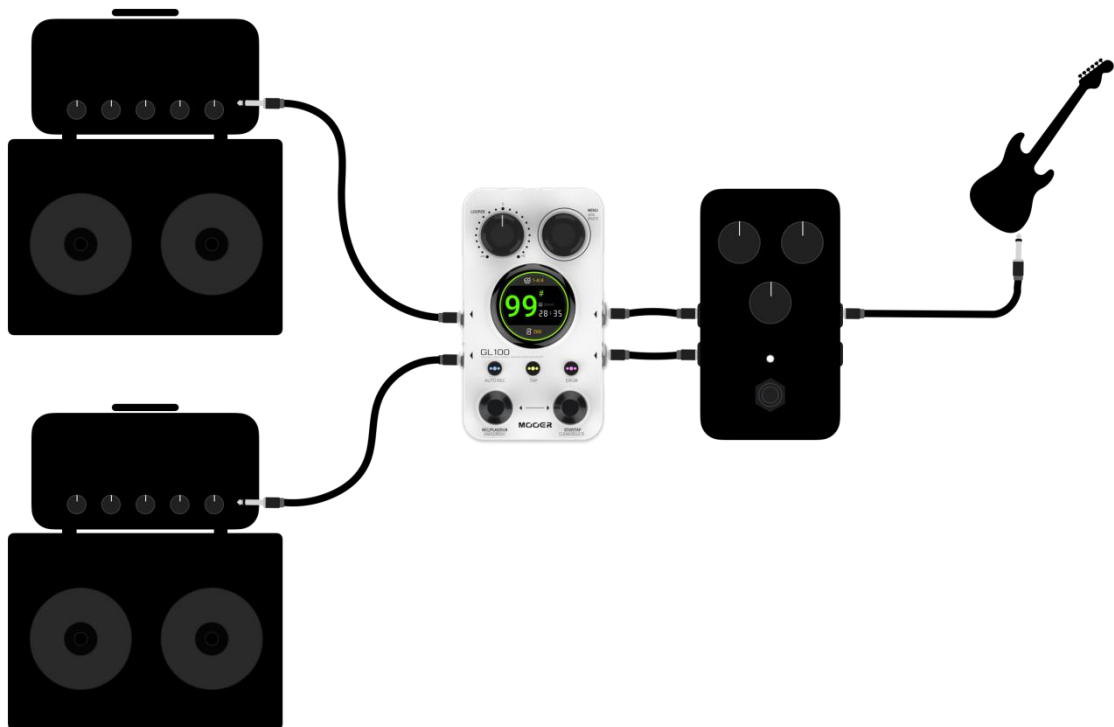
モノラル接続

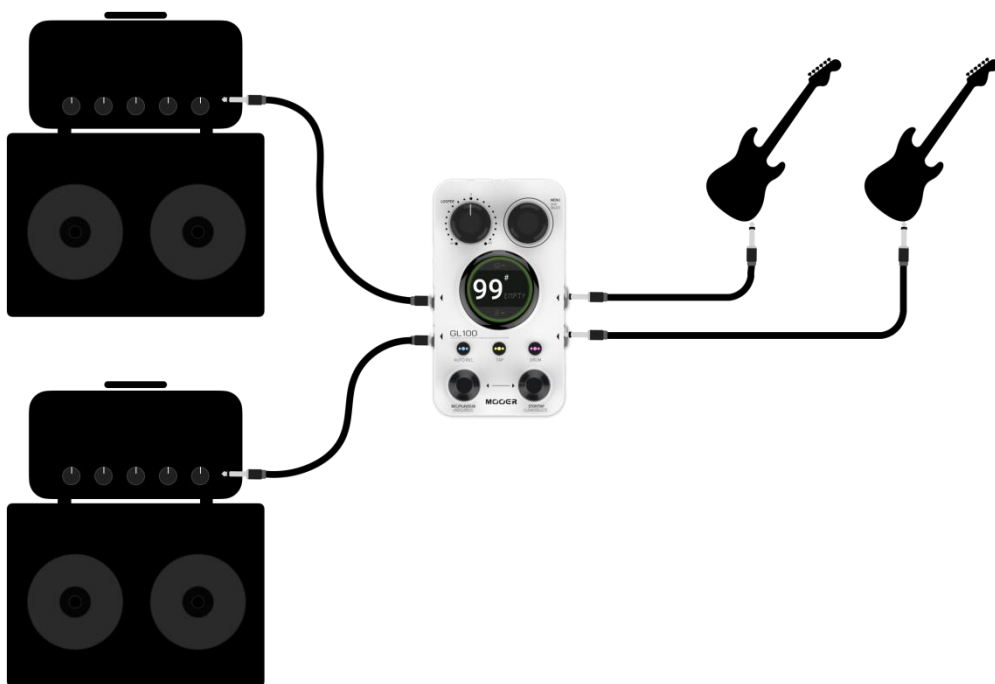


Note: モノラルインプット時、インプット信号が片側のアウトプットからしか出力されない場合、MENU スクリーンで Input Setting を Mixed に設定します。（Input Setting を参照）



ステレオ・デュアルチャンネル接続

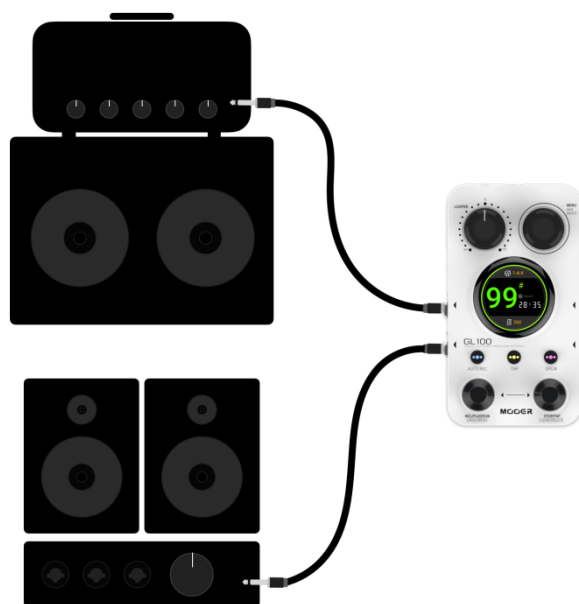
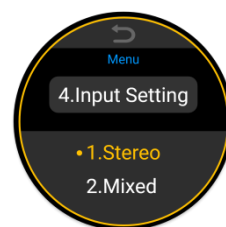




Note: ステレオ/デュアルチャンネル接続時、Input Setting が Stereo に設定する必要があります。（Input Setting を参照）

ドラムマシンと楽器を独立して出力

Drum Out も参照してください。



Note:

1. この接続例ではギターとドラムマシン信号を異なる機器に出力することができます。MENU から Drum Out を選択し、Split Out に設定してください。
2. この接続例では、ギター信号（インプット信号とループ）が L チャンネル、ドラムマシンが R チャンネルから出力されます。



基本のルーパー操作

ストレージの選択

現在選択されているストレージは、メインビューに#と数字で表示されます。ディスプレイ中央に大きく表示されるか、上部に小さく表示されます。ストレージを選択するには、2つの方法があります。

a.MENU ノブを回します。



b.フットスイッチで選択します。

両方のフットスイッチを同時に押すと、ストレージポジション選択モードが開きます。左のフットスイッチで下にスクロールし、右のフットスイッチで上にスクロールします。



数秒間入力がないと選択モードは自動的にキャンセルされます。

Recording a loop

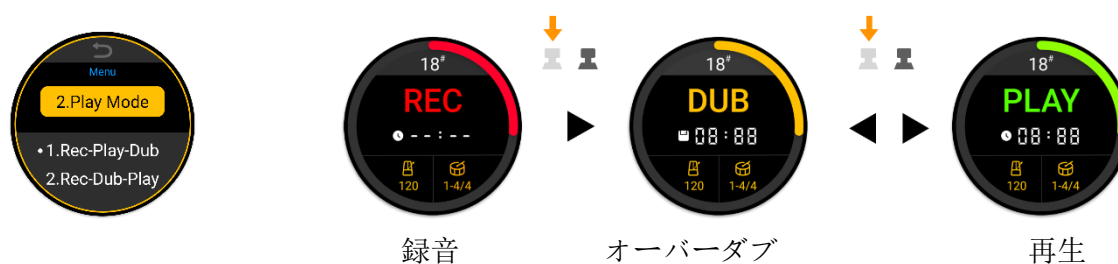
以下のアイコンを使用して、ルーパーの操作を説明します。



左フットスイッチ 右フットスイッチ MENU ノブ 短く押す 長押し



Play モードの MENU セットアップで Rec-Play-Dub の順序を Rec-Dub-Play に変更することができます。

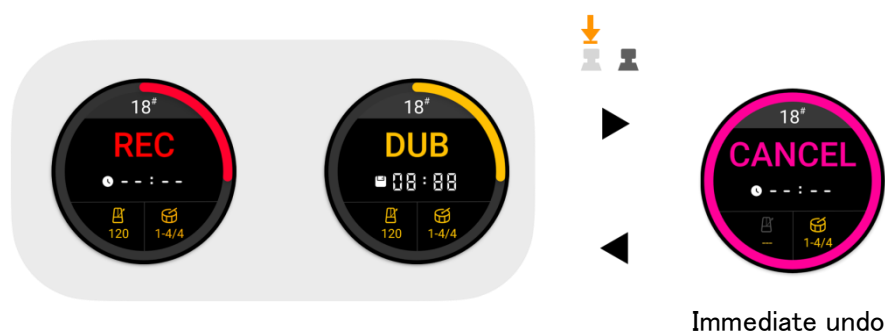


Rec-Dub-Play モードでは、ループの再生を挟まず、最初のレイヤーを録音した後で直接オーバーダブを行うことができます。

ループの停止は、即座に停止するかフェードアウトするかを選択できます。Stop Mode を参照してください。

キャンセル

録音・オーバーダブ時に、左フットスイッチを長押しして、一番上のレイヤーの録音をキャンセルし、録音・オーバーダブを再開することができます。



アンドゥ・リドゥ

複数のレイヤーを録音した後、アンドゥ（もとに戻す）で最後のレイヤーの内容を一時的に消去し、リドゥ（やり直し）でアンドゥで消去した最後のレイヤーを復元することができます。

アンドゥとリドゥは、再生中に左のフットスイッチを長押しして行います。



保存

ファイルの保存はオートとマニュアルの2つの方法があります。

オートセーブ:

GL100 はデータの保存のために演奏を中断する必要なく、録音したトラックレイヤーを自動保存します。全ての録音が自動的に保存されるので、保存の操作を行わなくても録音データ

が失われません。自動保存された録音は電源を切っても失われず、後から呼び出すことができます。

自動保存された状態のファイルは **Temporary** または時計のアイコンで表示されます。自動保存されたトラックはアンドゥ・リドゥの操作も行えます。

マニュアル:

マニュアルでファイルを保存すると、録音されたトラックレイヤーが新しいオーディオファイルに割り当てられ、全てのデータが保存されます。

マニュアルで保存されたファイルはフロッピーディスクのアイコンで表示され、全てのレイヤーが 1 つのトラックとして結合されます。レイヤーがすべて 1 つのトラックとなるため、アンドゥ・リドゥ操作はできなくなりますが、このトラックをベースとして新たなレイヤーをオーバーダブすることができます。マニュアルで保存したトラックを PC に接続してエクスポートすることもできます。(MOOER STUDIO FOR GL100 を参照)

マニュアル保存は下記のように操作します。

自動保存されたデータ MENU を長押し マニュアル保存されたデータ



マニュアル保存を行うと、時計のアイコンがフロッピーディスクのアイコンに変わります。

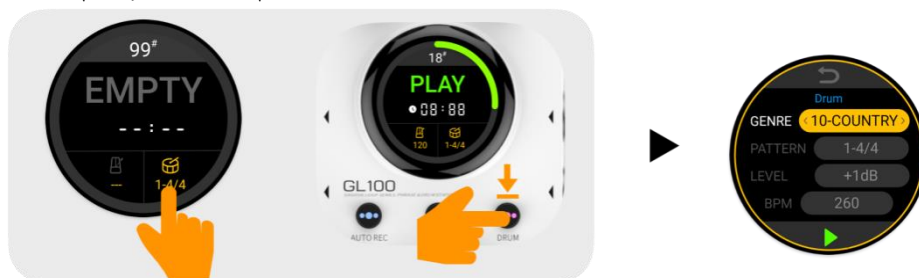


The following list explains the differences between manual saving and automatic temporary saving:

#	 オートセーブ	 マニュアル
1	右フットスイッチ長押しでデータを消去します。	右フットスイッチを長押ししながら MENU ボタンを長押ししてストレージの全てのデータを削除します。
2	アンドゥとリドゥが一番上のレイヤーに対して操作できます。	全てのレイヤーが 1 つの新しいトラックに結合されます。この操作は元に戻せません。
3	タイムストレッチ適用後は直接オーバーダブできません。	タイムストレッチが適用された状態でマニュアル保存を行うことで、そのデータにオーバーダブが可能です。
4	オートセーブされた状態のデータをコンピュータにエクスポートしたり視聴できません。	マニュアル保存されたデータはコンピュータにエクスポートしたり視聴することができます。
5	複数のレイヤーをオートセーブすると、レイヤー分のストレージスペースが必要になります。	マニュアル保存することで複数のレイヤーを 1 つのトラックに結合し、ストレージスペースを節約できます。

基本のドラムマシン操作

ドラムマシンのインターフェイス



ドラムアイコンをタップ、または **DRUM** ボタンを長押ししてドラムマシンメニューを開きます。

このインターフェイスでは **11** 種類のドラムマシンジャンルを選択でき、各ジャンルに **20** のパターン・拍子があります。ドラムマシンの音量やテンポの設定も行えます。

スクリーンをタップしてメニュー項目を選択し、**MENU** ノブを回して設定を変更します。

タッチスクリーンをタップして項目を選択し、**MENU** ノブを回して値を変更します。

ドラムマシンの再生・停止

次の方法でドラムマシンの再生・停止を操作します。

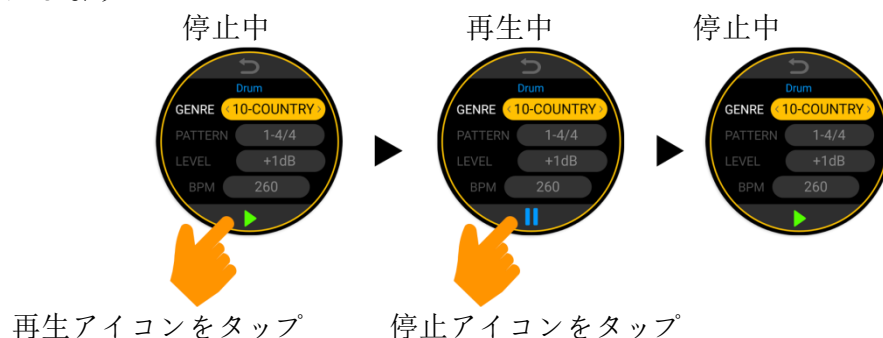
方法 1:フットスイッチ操作

データのない（Empty）ストレージ位置で、右フットスイッチを複数回押してテンポを設定すると、同時にドラムマシンが再生されます。ドラムマシンが再生したら右フットスイッチでドラムマシンを停止、再度押して再生します。



方法 2:タッチスクリーン

DRUM ボタンを長押ししてドラムマシンメニューを開き、スクリーンの再生・停止アイコンをタップします。



Note: DRUM メニューが開いている時、右フットスイッチを 1 回押すとドラムマシンの再生/停止を操作できます。

方法 3: ボタン操作

録音されたトラックが保存されているストレージでテンポ設定が使用中の場合、DRUM ボタンを押してドラムマシンの ON/OFF を切り替えることができます。



ドラムマシン音量の簡単な調整

DRUM ボタンを押しながら MENU ノブを回すことで、ドラムマシンの音量を素早く調整できます。



Note: ドラムマシンとルーパーの音量バランスを簡単に調整するため、ドラムマシンとルーパーの音量はグローバルパラメータで、ストレージごとに保存されません。

完全なフレーズループの録音

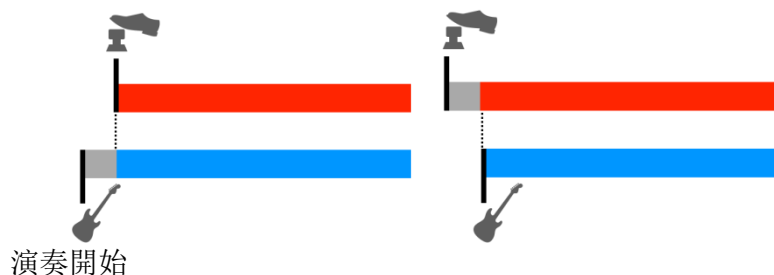
完全なフレーズループを録音するのは簡単ではありません。成功するための 3 つの重要な要素は次のとおりです。

- a. 完璧なスタート
- b. 中盤での安定した演奏
- c. 完璧なエンディング

ここでいう“完璧”とは、録音の開始と終了が演奏のタイミングと完全に同期していることを意味します。完璧ではない場合の例を見てみましょう。

a. 完璧ではないスタート

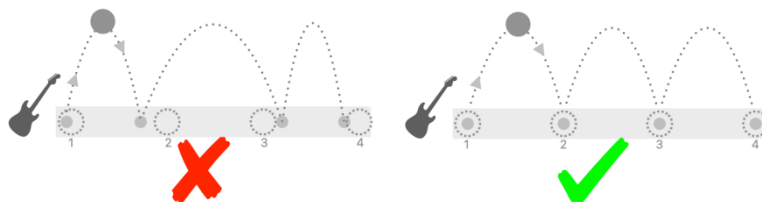
録音開始



例 1: 録音の開始が遅すぎたため、最初の音が欠落してしまった。

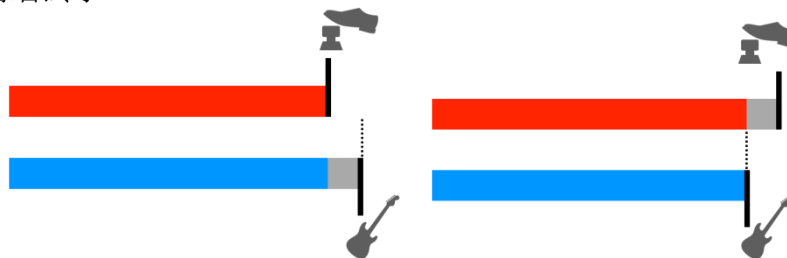
例 2: 録音の開始が早すぎたため、ループの先頭にギャップが生じてしまった。

b. 不安定な演奏



c. 完璧とは言えないエンディング

録音終了



演奏終了

例 1: 録音が早く終了し、最後の音が欠落してしまった。

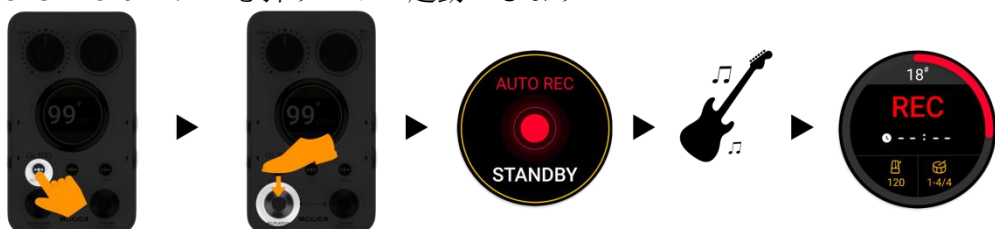
例 2: 録音が遅れて終了し、ループの最後にギャップが生じてしまった。

これらの例は、誰でも簡単に起こってしまうことです。この“ミス”を恐れるあまり悪循環に陥ってしまうこともあります。GL100 では、演奏にできる限り集中でき、完全なフレーズループが録音できるように様々な機能が設計されています。

AUTO REC

完璧なスタートを実現させるためのオートレコーディング。

AUTO REC はインプット信号を検出して自動的にループの録音を開始します。GL100 の操作と演奏のタイミングのズレによって生じる不正確なスタートの問題を回避することができます。AUTO REC はボタンを押すだけで起動できます。



AUTO REC ON

(ボタン LED 点灯)

左フットスイッチ

を押す

スタンバイ

演奏を検出

録音が自動で

開始される

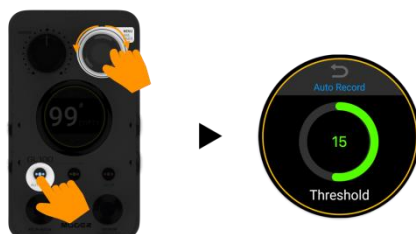
AUTO REC スタンバイモードで録音をキャンセルしたい場合は、左のフットスイッチをもう一度押すか、AUTO REC ボタンを押してキャンセルします。

AUTO REC トリガースレッシュホールド

AUTO REC が演奏を検出するためのシグナルレベルのスレッシュホールドが使用している楽器と合わないときは設定を調整できます。演奏していないのに録音が始まってしまうときはスレッシュホールドが低すぎ、演奏しても録音が始まらないときはスレッシュホールドが高すぎる可能性があります。スレッシュホールドの調整は次の 2 つの方法で行えます。



方法 1: AUTO REC を長押ししてスレッシュホールド調整メニューに入り、MENU ノブを回してスレッシュホールドを調整します。画面上部の戻るアイコンをクリックすると、前のビューに戻ります。



方法 2: AUTO REC を押したまま MENU ノブを回してスレッシュホールドをすばやく調整できます。調整後、画面は自動的に前のビューに戻ります。

カウントイン

完璧なスタートを実現させるためのもう 1 つの機能、カウントイン。

カウントインは録音スタート前にカウントを入れて演奏のスタートと録音のスタートを合わせるためのものです。カウントインを使用するにはまずテンポと拍子が決まっている必要があります。

カウントイン録音の方法は次のとおりです。

- データのない (Empty) ストレージを選択します。
- TAP ボタンでテンポを設定します。スクリーンに BPM が表示されます。
- DRUM メニューを開き、ドラムパターンと拍子を選択します。
- 左フットスイッチを押すと、カウントイン録音が始まります。

選択した拍子とテンポに合わせ、1 小節分のカウントインが再生されます。その後録音が自動的に開始されます。ドラムマシンがスタンバイ (DRUM ボタン LED が点滅) 時は、カウントイン後にドラムマシンの再生も開始します。

テンポは次の 3 つの方法で設定できます。



方法 1: TAP ボタンを複数回押します。



方法 2: TAP ボタンを押したまま MENU を回してテンポを調整します。



方法 3: ドラムマシンのデフォルトテンポを使用します。

- a. タッチスクリーンのドラムアイコンをタップするか、DRUM ボタンを長押しして DRUM メニューを開きます。
- b. DRUM ボタンを短く押し、ドラムマシンをスタンバイに切り替えます。

Note: ドラムマシンがすでに Empty のストレージで実行されている場合、左フットスイッチを押して録音を開始してもカウントインは行われません。

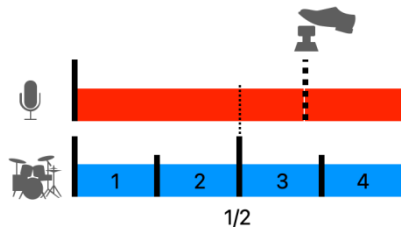
ドラムマシンとフレーズグループのアライメント・クオンタイズ

完璧なエンディングのための機能は、ドラムマシンをフレーズの終わりに同期させることです。

この機能には個別のスイッチはなく、動作する条件はカウントイン録音と同様です。

テンポと拍子が設定された状態のストレージに録音する場合、録音の終了位置が設定された拍子の 1/2 小節を超えるか超えないかで動作が異なります。1/2 小節を超えた場合はその小節の終わりまで録音が継続され、1/2 小節を超えない場合は一つ前の小節の終わりでカットされます。これによりドラムマシンメニューで選択された拍子記号によって決定される小節数に揃えられます。

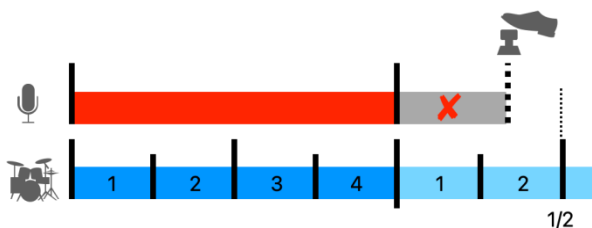
例えば 4/4 拍子の場合、録音中に小節の 3 拍目でフットスイッチを踏むと、ルーパーは現在の小節の最後まで録音を続けた後、最初から録音を開始して、フレーズの長さとドラムマシンの拍子が同期されるようにします。



1/2 小節を超えている場合は小節の終わりまで録音される

小節の 2 拍目(1/2 小節未満) に到達する前にフットスイッチを踏むと、一つ前の小節の終了からフットスイッチを踏むまでの間の録音が破棄され、ルーパーはすぐに最初から再生またはオーバーダブが開始されます。

録音開始から最初の小節の前半が録音される前にフットスイッチを押すと、録音は完全にキャンセルされ、ルーパーは録音スタンバイ状態にリセットされます。



1/2 小節を超えない分はカットされる

これらの機能を使うことで、フレーズループの開始と終了に意識を取られることなく、あとは演奏中のテンポキープに集中するだけで完全なフレーズループの完成に近づきます。テンポの揺れがなく、ドラムとループが同期した素晴らしいフレーズループの世界です。

ドラムマシンのオートマッチング

GL100 の DrumMatch 機能は、ドラムマシンのテンポを録音したフレーズに自動的にマッチさせます。この機能を有効にすると Empty のストレージでフレーズループの録音を開始し、ドラムマシンマッチングの完了が表示された後でフレーズを終了すると、フレーズループとドラムマシンを同期させることができます。

DrumMatch を有効にする



MENU ノブを押して SYSTEM メニューに入ります。

MENU ノブで DrumMatch を探し、ノブを押して ON に設定します。

DrumMatch が有効になると、Empty のストレージに Match という文字がドラムマシンアイコンの下に表示されます。

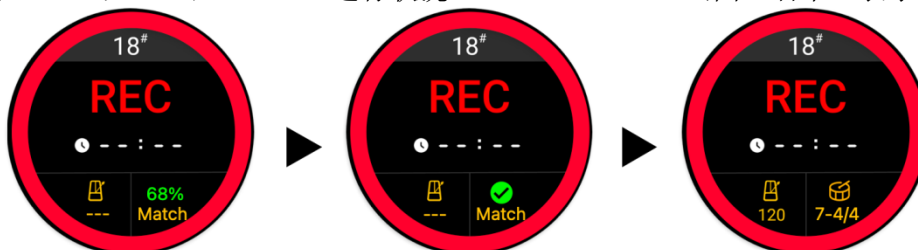


DrumMatch を使う

DrumMatch を使用する前に、DRUM ボタンを長押しするか、スクリーンのドラムマシンアイコンをタップしてドラムマシンメニューを開き、再生するジャンルとパターン/拍子を選択できます。



メインインターフェイスに戻り、フレーズを録音します。演奏中、GL100 は演奏に合わせてテンポを合わせます。マッチングの進行状況はフレーズループ画面の右下に表示されます。



マッチング処理は約 8 秒間かかります。ドラムマシンのマッチングが終了しても、フレーズの録音を終了する必要はありません。

そのまま演奏を続けることができますが、マッチングが完了した後にプレイしたものはマッチングプロセスには使用されません。

マッチングプロセス中にオーディオ入力検出されない場合、またはマッチングプロセスが完了する前に録音が終了した場合、マッチングプロセスは失敗し、録音内容が削除され、再度操作をやり直す必要があります。



正常にマッチングが完了すると再生中にフレーズとドラムマシンのリズムを同期します。



マッチングやレコーディングをやり直す

マッチング中の演奏やドラムマシンのテンポマッチングの結果に満足できない場合は、ドラムマシンのテンポを維持してフレーズを再録音するか、最初からやり直すことができます。

- **ドラムマシンのリズムを保ったまま、フレーズを再度録音する**

マニュアル保存前にクリア（右フットスイッチを長押し）を行うと、フレーズの内容のみがクリアされ、ドラムマシンのリズムは保持されます。フレーズを再録音し、再生後に **DRUM** ボタンを押して元のドラムマシンをオンにすると、同期したループが再生されます。

- **フレーズ録音とドラムマシンのリズムをすべて削除**

すべて削除（右フットスイッチを長押し+MENU ノブを押す）を実行すると、録音したフレーズとマッチングしたテンポが削除され、マッチングステータスがスタンバイにリセットされます。

Note:

1. すべて削除を使用してドラムマシンのマッチング結果を削除できるのは、**DrumMatch** がアクティブな場合のみです。
2. **DrumMatch** モードでは、フレーズループを録音して、ループをもとに一致するドラムマシンのテンポを決定する必要があります。マッチング結果が生成されるまで、ドラムマシンのテンポを選択したり、拍子設定などの操作を行うことはできません。マッチング結果が生成された後でも、これらの設定を変更することはできません。

タイムストレッチ

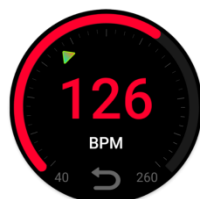
タイムストレッチ（**TIME STRETCH**）はオーディオのピッチを変更せずに、録音またはインポートされたオーディオの速度を変更します。

バックアップオーディオをもっと速く、または遅くした方がフレーズの演奏に合う場合、再度録音したりインポートしたりする必要はありません。タイムストレッチを実行するだけで、希望どおりの結果を得ることができます。

また、**GL100** にインポートまたは録音したオーディオトラックの練習にも使用できます。元の速度でトラックをスムーズに伴奏できるようになるまで、速度を下げても何度でも再生して練習できます。

タイムストレッチの使用方法

- オーディオを録音またはインポートすると、**GL100** は現在の **BPM** テンポを自動的に検出して適応します。



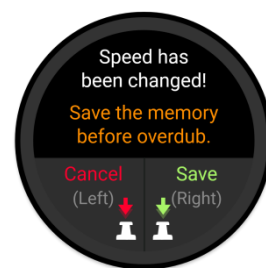
- 録音したトラックの保存位置を選択し、左のフットスイッチを押してトラックを再生します。
- **方法 1:** TAP ボタンを押しながら MENU ノブを同時に回すと、テンポをすばやく変更できます。
 - **赤い表示:** 元のテンポに比べてテンポが速くなります。
 - **水色の表示:** 元のテンポに比べてテンポが遅くなります。
 - **緑の表示:** 元のテンポのまま変更されていません。
 MENU ボタンを押すと、元の値に戻ります。



- **方法 2:** TAP ボタンを複数回押してテンポを調整します。

右フットスイッチで再生を停止します。停止後、左フットスイッチを押すと新しいテンポで再生を再開できます。

再生中に左フットスイッチをもう一度押してオーバーダブを実行すると、テンポ変更を保存するか（右フットスイッチ）、テンポ変更をキャンセルするか（左フットスイッチ）を確認するメッセージが表示されます。オーバーダブは、テンポ変更が保存またはキャンセルされた後のみ録音できます。



Note:

- トラックをオーバーダビングする前に、テンポの変更を保存またはキャンセルする必要があります。
- マニュアル保存を行うとテンポの変更は元に戻せません。

4. 演奏中のポジションジャンプ

演奏中にさまざまなストレージ位置を切り替えることができます。

ルーパーの実行中（再生またはオーバーダブ）に、フットスイッチでストレージ位置を移動できます。

ジャンプ後の動作（再生または停止）は、ジャンプ先にデータがあるかどうかによって異なります。

この機能で曲の一部を事前に録音したり、さまざまな場所にインポートして演奏時に呼び出したり、曲のさまざまな部分をライブでリアルタイムに最初から作成することができます。各ストレージ位置を切り替えて、異なるドラムリズムやテンポを録音できます。この機能により、保存のために演奏を停止する必要がなくなり、ステージパフォーマンスに最適です。

- ルーパーの実行中（再生中またはオーバーダビング中）に、両方のフットスイッチを同時に押します。



ポジション切り替えモードが有効になり、ディスプレイが点滅します。

- 左（下）または右（上）のフットスイッチを踏んで、ポジションジャンプ先の位置を選択します。



- スイッチング動作を停止してから 3 秒後に目標位置が有効になります。
- 元の位置でのオーディオ再生が終了すると、新しい位置にジャンプして、そこに保存されているループを再生するか、ジャンプ先の保存位置にデータがない場合は録音を開始します。



開始時のポジション ターゲットポジション

ジャンプ先のターゲット位置を選択した後、ジャンプが実行される前に（元のストレージがまだ再生中）、左または右のフットスイッチを踏んで強制ジャンプを実行したり、ジャンプアクションをキャンセルしたりできます。



左フットスイッチ
キャンセル



強制的にジャンプ



右フットスイッチ



ジャンプをキャン

ルーパー実行中のポジションジャンプの条件と状態の説明です。

#	スタートポジション	ターゲットポジション	ジャンプ後の動作
1	Empty または停止	Empty または停止	Empty または停止のままです。
2	録音	Empty または停止	スタートポジションの録音データが破棄され、ターゲットポジションは Empty または停止のままです。
3	再生またはオーバーダブ	Empty	ジャンプ後、ターゲットポジションで録音が自動的にスタートします。
4	再生またはオーバーダブ	停止	ジャンプ後、ターゲットポジションで再生が自動的にスタートします。

Note: 停止＝データが収録されていることを意味します。

セッティング

セッティングメニューを開きます。**MENU** ノブを回してメニュー項目を切り替え、**MENU** ノブを押してサブメニューに切り替え、**MENU** ノブを回して設定を変更します。一部のメニュー項目は、タッチスクリーンでタッチして直接選択することもできます。画面上部の戻るアイコンをタップするとメインインターフェイスに戻ります。

1. Capacity

全体のストレージの容量と使用中の容量を表示します。ここは情報を確認するための画面で、設定項目はありません。

Note: 使用中の容量はトラックタイムの合計よりも多くなることがあります。例えばアンドゥ・リドゥ用のデータが残っている場合、そのデータの容量は再生時間の2倍になります。



2. Play Mode

ループ録音時の操作順序を設定します。

1. Rec-Play-Dub

2. Rec-Dub-Play

モード 1: 録音-再生-オーバーダブ



このモードではループの最初のレイヤーを録音後、左フットスイッチで再生し、もう 1 度フットスイッチを押すと新たなレイヤーへのオーバーダブを開始します。

モード 2: 録音-オーバーダブ-再生



このモードではループの最初のレイヤーを録音後、左フットスイッチを押すとすぐに新たなレイヤーへのオーバーダブを開始します。

3. Stop Mode

ループ再生中に右フットスイッチを押してループを停止するときの動作を 4 つのモードから選択します。

1. **Immediately:** 右フットスイッチを押すとループの再生がすぐに停止します。(デフォルト)

2. **OneShot:** 右フットスイッチを押すと、フレーズループが録音されたトラックの最後まで再生され、その後自動的に停止します。右フットスイッチを押した後のループ再生中は **STOP** 画面が点滅します。残りの再生時間中に右フットスイッチをもう一度踏むと、再生をすぐに停止できます。

3. **FadeOut(short):** 4 秒のフェードアウトです。右フットスイッチを押してから 4 秒後に再生が停止しますが、フェードアウト中に右フットスイッチをもう一度押すとすぐに停止します。フェードアウト中は **STOP** 画面が点滅します。

4. **FadeOut(long):** 12 秒のフェードアウトです。右フットスイッチを押してから 12 秒後に再生が停止しますが、フェードアウト中に右フットスイッチをもう一度押すとすぐに停止します。フェードアウト中は **STOP** 画面が点滅します。



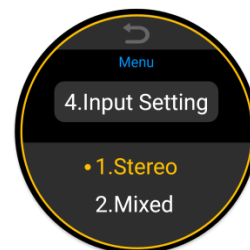
4. Input Setting

接続例も参照してください。.

GL100 はステレオ 2 チャンネルのフレーズループの録音をサポートしています。ルーパーはステレオの両方のチャンネルから出力されます。

(Drum Out の設定により異なります)

インプットは別々のアウトプットにルーティングしたり、ミックスして両方のアウトプットに出力することができます。ヘッドフォンアウトにも同じルーティングが適用されます。



Stereo: ステレオオーディオデバイスやキーボード、ステレオエフェクト、2 つの楽器など、ステレオインプットデバイス (L チャンネルと R チャンネルを区別する必要があるもの) が接続されている場合、この設定を使用します。

- L インプットは L アウトプットに、R インプットは R アウトプットに接続されます。ヘッドフォンアウトも同様にルーティングされます。
- ルーパーの再生とドラムマシン信号は両方のアウトプットから出力されます。(Drum Out の設定により異なります)
- この設定を 1 つのモノラル楽器で使用する場合、1 つのアウトプットは楽器+ルーパー/ドラムマシンが出力され、もう 1 つのアウトプットはルーパー/ドラムマシンのみが出力されます。
- ステレオインプットを 2 つの別の楽器で使用する場合、2 つのアウトプットはインプットの同じチャンネルに接続された楽器+ルーパー/ドラムマシンが出力されます。

Mixed: モノラルインプット・ステレオアウトプットに接続する場合はこの設定を使用します。

- インプット信号はミックスされ、両方の出力に接続されます。ステレオアウトとヘッドフォンアウトは LR 両方からパスする一信号が出力されます。
- ギターとベースを同時に接続するような、2 つの異なる楽器をインプットに接続する場合にも使用できます。2 つの楽器のサウンドはミックスされ、ルーパー/ドラムマシンを両方の出力から聴くことができます。(Drum Out の設定により異なります)

5. Drum Out

GL100 のドラムマシンはデフォルトで **Mixed** に設定されています。ドラムマシン、フレーズループ、パススルー信号がミックスされ、LR の両方から出力されます。.

Split Out に設定すると、信号が下記のように分離されます。

- パススルー+ルーパー信号が L アウトプットから出力されます。ドラムマシン信号は R アウトプットから出力されます。ヘッドフォンアウトも同様に適用されます。.

この機能は様々な信号を別のオーディオ機器やエフェクターに接続してさらに処理する場合に使用できます。接続例も参照してください。



6. DrumMatch

ON/OFF を設定します。ドラムマシンのオートマッチングを参照してください。



7. Reset

この項目は、全てのユーザーデータを消去し、工場出荷時の設定に戻します。録音、インポートされたオーディオは全て削除され、ドラムマシンとメニュー設定がリセットされます。リセットを行うには、**MENU** ノブを回してから **MENU** ノブを 1 秒間長押しします。リセット後、データがリセットされ、自動的に **00** の位置に戻ります。リセット後に削除したデータや設定を復元することはできません。

使用例

GL100 のルーパーとドラムマシンは個別に使用することも、両方を同時に使用することもできます。組み合わせる場合は、適切に同期させることが重要です。

このセクションでは GL100 の使用例をご紹介します。

シナリオ 1: フレーズルーパーのみを使う

録音前、録音後にドラムマシンが ON になっていないこと（DRUM ボタンの LED が消灯）を確認します。

シナリオ 2: ドラムマシンのみを使う

1. データなし（Empty）のストレージを選択し、右フットスイッチを押してドラムマシンを起動し、複数回押してテンポを入力します。ドラムマシンを再生し、右フットスイッチを押すとドラムマシンが停止します。
2. 2.DRUM ボタンを長押しするとドラムマシンメニューが開、右フットスイッチを押してドラムマシン ON/OFF を切り替えます。

Note: ドラムマシンメニューが開いているとき、右フットスイッチでタップテンポ入力を行うことはできません。TAP ボタンを使用するか、MENU ノブまたはタッチスクリーンからテンポを設定します。

シナリオ 3: ドラムマシンとフレーズルーパーを同時に使う

Note: ドラムマシンの音は録音するフレーズループのオーディオに含まれません。ドラムマシンに合わせてフレーズループを録音し、後からドラムなしで再生したり、別のドラムを組み合わせることもできます。

1. フレーズループを録音してからドラムマシンを合わせる
 - a. データなし（Empty）のストレージポジションを選択し、ドラムマシンのリズムとテンポを設定します。
 - b. フレーズループを録音・再生します。
 - c. フレーズを再生すると、現在選択されているドラムマシンのテンポとリズムに対してテンポが自動的に調整されます。
 - d. DRUM ボタンを押すと、ドラムマシンが起動し、ルーパーと同期します。

Note:

- この方法は、ドラムマシンで選択されたドラムパターンの拍子とフレーズループの演奏の拍子と同じにする必要があります。拍子がズレているとドラムマシンがうまく同期できないことがあります。
- ドラムマシンのテンポは 1 小節または偶数の小節のフレーズに適用されます。3 以上の奇数の小節のフレーズは正しく再生されないことがあり、テンポが正しく調整されないことがあります。
- テンポが意図したものと異なる場合、再度録音しなおしてください。

2. カウントイン録音

- a. データなし（Empty）のストレージポジションで TAP ボタンを複数回押すか、BPM 値を調整してテンポを入力します。
- b. 録音を開始すると、入力した拍子とテンポに基づいた 1 小節のカウントインが再生さ

れます。

- c. カウントインバーの終了後、トラックの録音が自動的に開始されます。
- d. 特にトラックの最初のレイヤーを録音中は、TAP ボタン LED の点滅を参考に演奏します。
- e. 録音後の再生中に DRUM ボタンを押すと、ドラムマシンを ON/OFF できます。

3. ドラムマシンに合わせてフレーズを録音する

- a. データなし (Empty) のストレージポジションでドラムマシンを ON にし、右フットスイッチを複数回押すか、ドラムメニューを開いてテンポを設定します。
- b. 左フットスイッチを押してフレーズを録音します。このとき、ドラムマシンはすぐにパターンを最初から再生し、フレーズが同時に始まるようにします。
- c. ドラムマシンのリズムに合わせて最初のレイヤーを録音します。

GL100 の全ての機能を説明しました。クリエイティブな旅を始めましょう。

Note: DrumMatch モードがアクティブな場合、マッチングプロセスでテンポを決定できるようにフレーズを録音する必要があります。

MOOER STUDIO FOR GL100 は、専用のコンピュータソフトウェアです。オーディオファイルのインポートとエクスポート、ファームウェアアップデート、ファクトリーリセットを実行できます。

公式ウェブサイト www.mooeraudio.com にアクセスし、ダウンロードエリアに移動して MOOER STUDIO FOR GL100 をダウンロードし、ソフトウェアをコンピューターにインストールします。

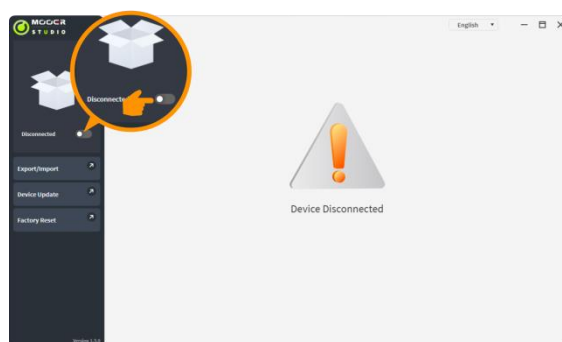
システム要件

Win: Windows 10 以降

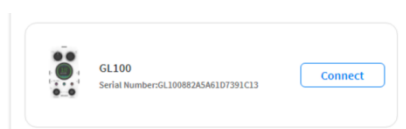
Mac: Mac OS 10.15 以上

接続

1. 付属の USB ケーブルを使用して、GL100 とコンピューターを接続します。
2. MOOER STUDIO FOR GL100 を開き、左上にある Connection スイッチをクリックします。



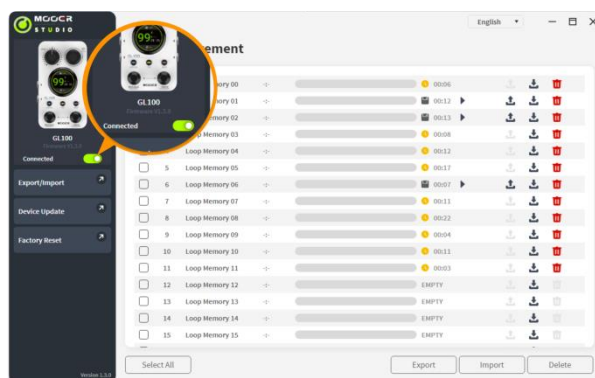
3. デバイスリストから GL100 を選択し、Connect をクリックします。



ソフトウェアには進行状況ダイアルが表示され、GL100 のタッチスクリーンに接続のグラフィックが表示されます。



4. T 正しく接続されると左上のエリアに Connected 表示され、ストレージのリストが表示されます。



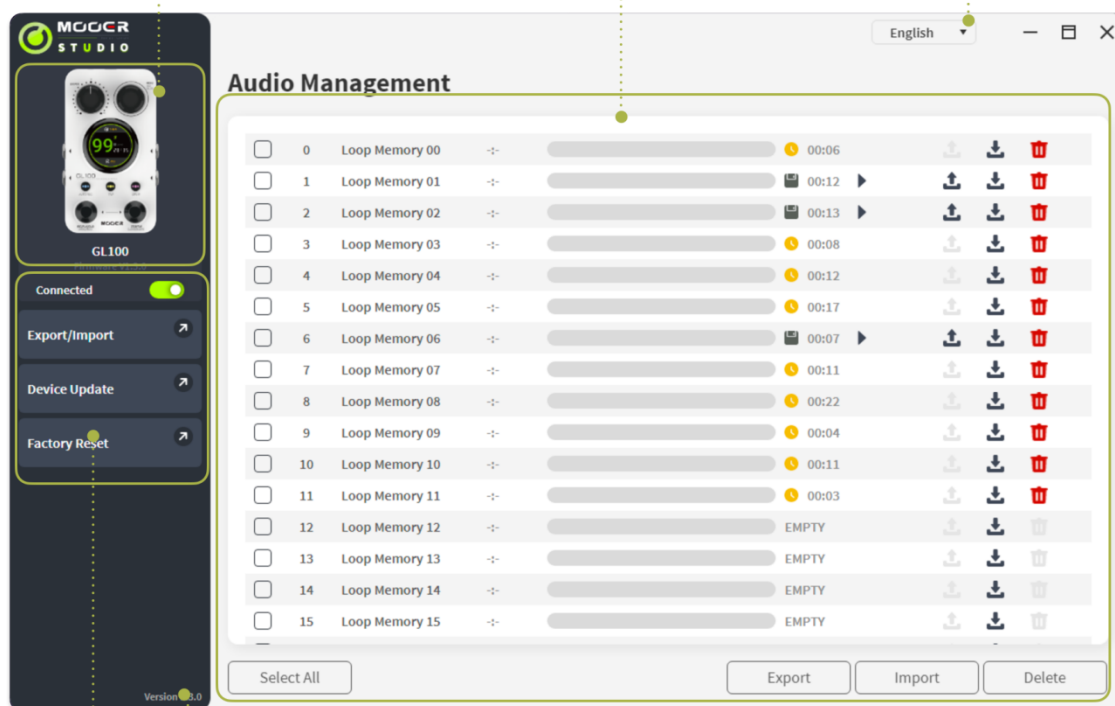
Note: GL100 が MOOER STUDIO FOR GL100 に接続されている間、GL100 本体を操作することはできません。GL100 からのオーディオ出力もブロックされます。

ソフトウェアインターフェイス

モデル名
バージョン
接続状況

操作エリア
使用できる機能は左のファンクション
リストに表示されます。

言語設定
ドロップダウンメニュー
から設定します。



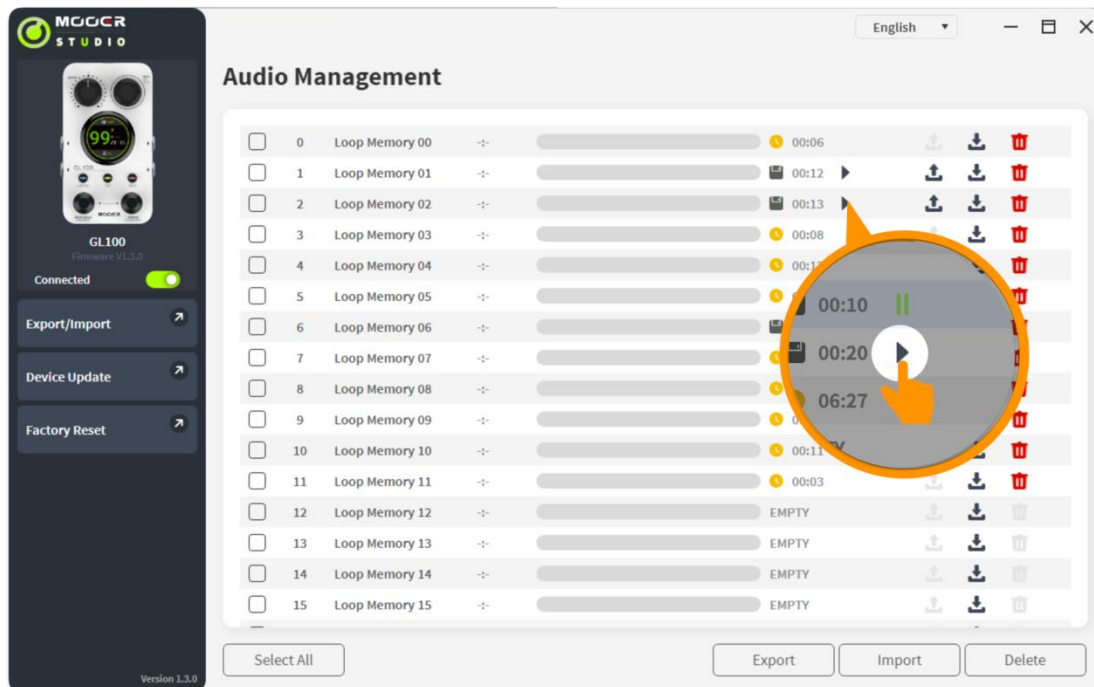
ファンクションリスト
-エクスポート・インポート
-アップデート
-ファクトリーリセット

現在のソフトウェアバージョン

利用可能な機能

ルーパートラックを聴く

GL100 が正しく接続されると、左側に接続モードと操作が表示され、GL100 のオーディオ出力がブロックされます。ソフトウェア画面の右側にあるそれぞれのストレージの後ろにある再生ボタンから、コンピューターでオーディオを聴くことができます。



インポート・エクスポート

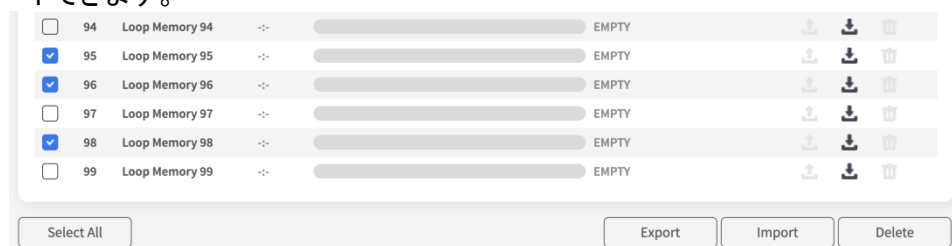
このソフトウェアの主な機能は、オーディオデータのインポートとエクスポートです。GL100 に録音されたオーディオをコンピューターにエクスポートして保存または共有したり、外部オーディオファイルを GL100 にインポートできます。

インポート

ストレージの後ろにあるインポートボタンをクリックして、各ストレージにオーディオを 1 つずつインポートします。



複数のストレージをチェックしてインポートボタンをクリックすると複数のオーディオをまとめてインポートできます。

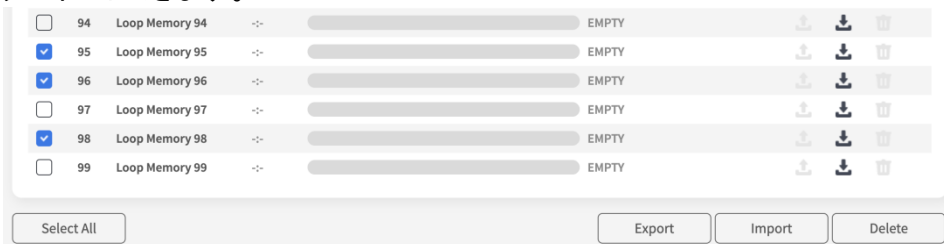


エクスポート

ストレージの後ろにあるエクスポートボタンをクリックして、各ストレージからオーディオを1つずつエクスポートします。



複数のストレージをチェックしてエクスポートボタンをクリックすると、複数のオーディオをまとめてエクスポートできます。



Note: MOOER STUDIO FOR GL100 はマニュアルで保存したオーディオトラックのみをエクスポートおよび再生できます。一時データはエクスポートおよび再生できません。保存セクションを参照してください。

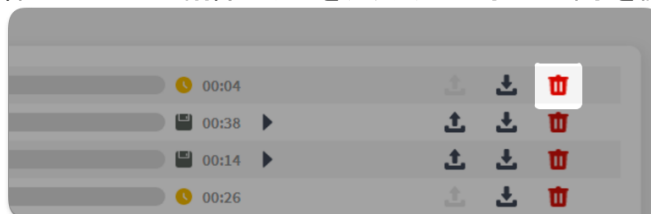
フォーマット

GL100 は一般的なオーディオ形式のインポートをサポートしており、ビデオ形式からオーディオを自動的に抽出することもできます。使用可能な形式は下図のものが含まれますが、これらに限定されません。

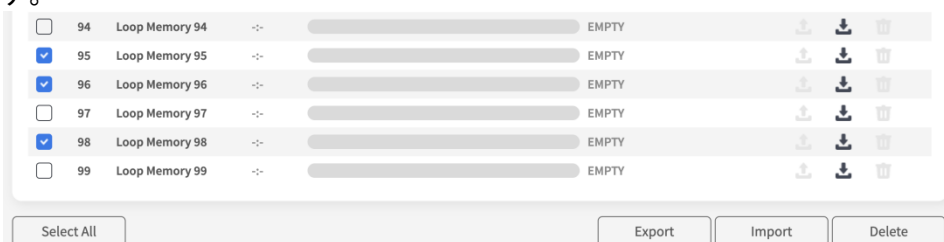
インポートできるオーディオ	インポートできるビデオ	エクスポートフォーマット	個別のストレージにインポートできるオーディオの長さ	インポートできるサンプルレート
wav, flac, ape, mp3, m4a, aac, ogg...	mp4, mov, wma, avi, mpeg	wav (dual channel)	30 分	制限なし

オーディオトラックの削除

各ストレージの削除ボタンをクリックしてオーディオを個別に削除します。



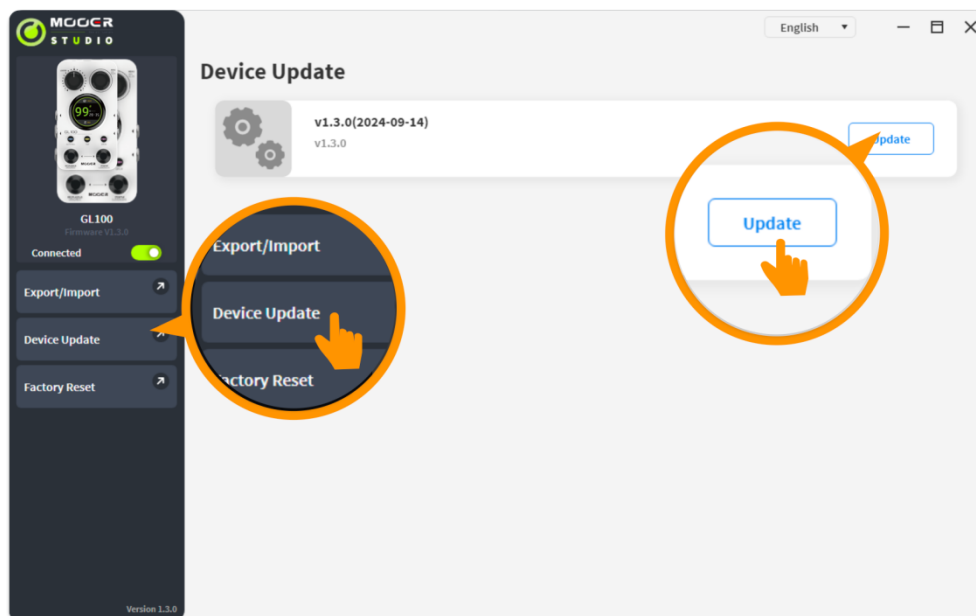
複数のストレージをチェックして削除ボタンをクリックすると複数のオーディオをまとめて削除できます。



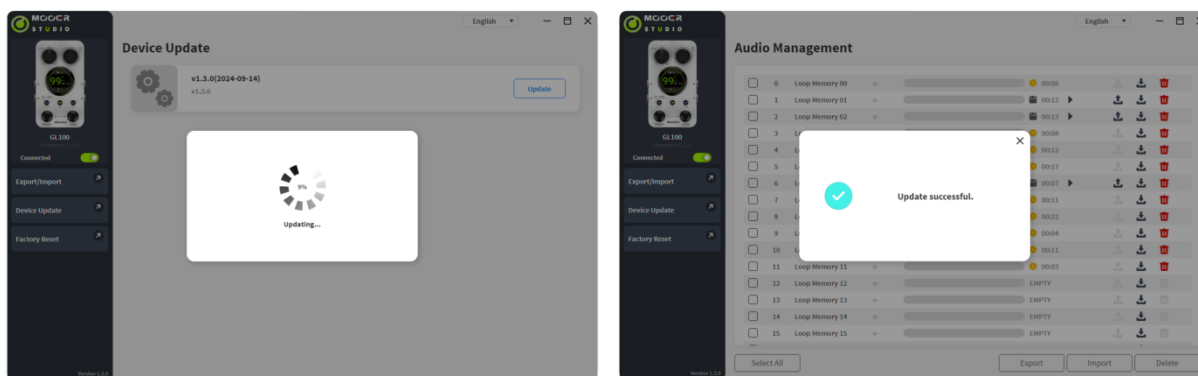
ファームウェアアップデート

GL100 の現在のファームウェアバージョンは、起動時および RESET メニューのタッチスクリーンに表示されます。MOOER STUDIO FOR GL100 に接続すると、ソフトウェアインターフェイスの左上にも表示されます。

ファームウェアアップデートがリリースされたら、GL100 を正常に接続後、MOOER STUDIO FOR GL100 から次の手順でダウンロードすることができます。

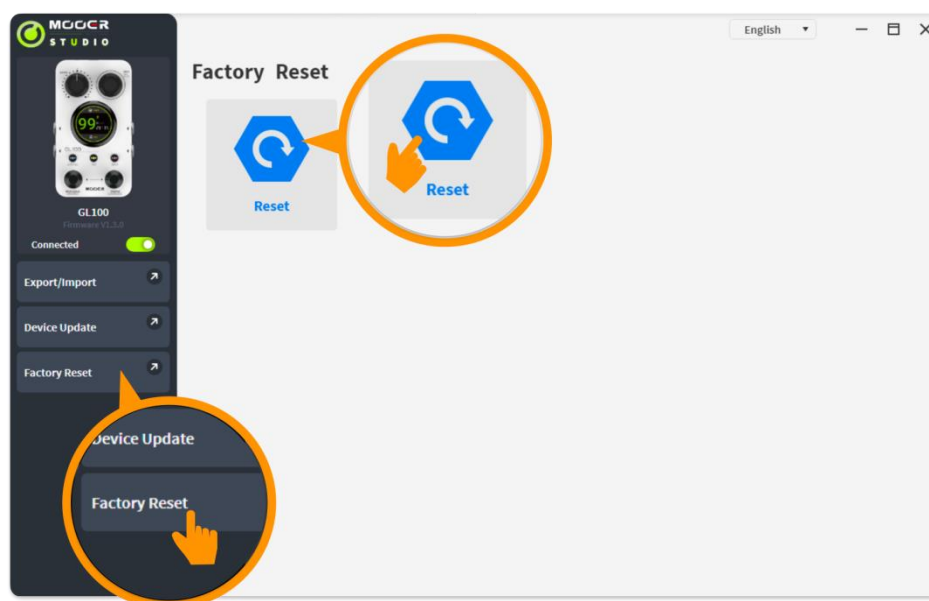


Update をクリックすると、GL100 はアップデートモードで再起動し、アップデート完了後は Update Successful と表示された後、自動的に再起動します。



Note: アップデートプロセス中は電源ケーブルと USB ケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。アップデート中にケーブルが抜けたり電源が切れると予期しない問題が発生することがあります。

ファクトリーリセット



GL100 の RESET メニューと同じ操作を行うことができます。リセット後、録音やインポートされたオーディオファイル、ドラムマシン設定、メニュー設定など全てのデータがクリアされ、工場出荷時の状態に復元されます。リセット後、削除されたデータを復元することはできません。

ドラムマシンリズムリスト

GENRE	PATTERN	TIME SIG
1. POP	1	4/4
	2	4/4
	3	4/4
	4	4/4
	5	4/4
	6	4/4
	7	4/4
	8	4/4
	9	4/4
	10	4/4
	11	4/4
	12	4/4
	13	4/4
	14	4/4
	15	4/4
	16	3/4
	17	3/4
	18	3/4
	19	6/8
	20	6/8

GENRE	PATTERN	TIME SIG
2. FUNK	1	4/4
	2	4/4
	3	4/4
	4	4/4
	5	4/4
	6	4/4
	7	4/4
	8	4/4
	9	4/4
	10	4/4
	11	4/4
	12	4/4
	13	4/4
	14	4/4
	15	4/4
	16	4/4
	17	4/4
	18	4/4
	19	3/4
	20	6/8

GENRE	PATTERN	TIME SIG
3. BLUES	1	4/4
	2	4/4
	3	4/4
	4	4/4
	5	4/4
	6	4/4
	7	4/4
	8	4/4
	9	4/4
	10	4/4
	11	4/4
	12	4/4
	13	4/4
	14	4/4
	15	4/4
	16	4/4
	17	6/8
	18	6/8
	19	6/8
	20	6/8

GENRE	PATTERN	TIME SIG
4. ROCK	1	4/4
	2	4/4
	3	4/4
	4	4/4
	5	4/4
	6	4/4
	7	4/4
	8	4/4
	9	4/4
	10	4/4
	11	4/4
	12	4/4
	13	4/4
	14	4/4
	15	4/4
	16	4/4
	17	4/4
	18	3/4
	19	6/8
	20	6/8

GENRE	PATTERN	TIME SIG
5. METAL	1	4/4
	2	4/4
	3	4/4
	4	4/4
	5	4/4
	6	4/4
	7	4/4
	8	4/4
	9	4/4
	10	4/4
	11	4/4
	12	4/4
	13	4/4
	14	4/4
	15	4/4
	16	4/4
	17	3/4
	18	3/4
	19	6/8
	20	6/8

GENRE	PATTERN	TIME SIG
6. JAZZ	1	4/4
	2	4/4
	3	4/4
	4	4/4
	5	4/4
	6	4/4
	7	4/4
	8	4/4
	9	4/4
	10	4/4
	11	4/4
	12	4/4
	13	4/4
	14	4/4
	15	4/4
	16	4/4
	17	4/4
	18	4/4
	19	4/4
	20	2/4

GENRE	PATTERN	TIME SIG
7. FUSION	1	4/4
	2	4/4
	3	4/4
	4	4/4
	5	4/4
	6	4/4
	7	4/4
	8	4/4
	9	4/4
	10	4/4
	11	4/4
	12	4/4
	13	4/4
	14	4/4
	15	4/4
	16	4/4
	17	3/4
	18	5/4
	19	7/8
	20	7/8

GENRE	PATTERN	TIME SIG
8. PUNK	1	4/4
	2	4/4
	3	4/4
	4	4/4
	5	4/4
	6	4/4
	7	4/4
	8	4/4
	9	4/4
	10	4/4
	11	4/4
	12	4/4
	13	4/4
	14	4/4
	15	4/4
	16	4/4
	17	4/4
	18	4/4
	19	3/4
	20	3/4

GENRE	PATTERN	TIME SIG
9. LATIN	1	4/4
	2	4/4
	3	4/4
	4	4/4
	5	4/4
	6	4/4
	7	4/4
	8	4/4
	9	4/4
	10	4/4
	11	4/4
	12	4/4
	13	4/4
	14	4/4
	15	4/4
	16	4/4
	17	4/4
	18	3/4
	19	6/8
	20	6/8

GENRE	PATTERN	TIME SIG
10. COUNTRY	1	4/4
	2	4/4
	3	4/4
	4	4/4
	5	4/4
	6	4/4
	7	4/4
	8	4/4
	9	4/4
	10	4/4
	11	4/4
	12	4/4
	13	4/4
	14	4/4
	15	4/4
	16	3/4
	17	3/4
	18	6/8
	19	6/8
	20	6/8

GENRE	PATTERN	TIME SIG
11. REGGAE	1	4/4
	2	4/4
	3	4/4
	4	4/4
	5	4/4
	6	4/4
	7	4/4
	8	4/4
	9	4/4
	10	4/4
	11	4/4
	12	4/4
	13	4/4
	14	4/4
	15	4/4
	16	4/4
	17	4/4
	18	4/4
	19	4/4
	20	2/4

スペック

インプット:	2 x 1/4"モノラルインプット(インピーダンス 2.2MΩ)
アウトプット:	2 x 1/4"モノラルアウトプット(インピーダンス 120Ω)
ヘッドフォンアウト:	1 x 1/8"ステレオアウトプット(インピーダンス 32Ω)
ストレージ数:	100
録音時間(合計):	300 分(ステレオ)
サンプルレート/サンプル深度:	44.1kHz / 24bit
インポートファイルフォーマット:	wav, flac, ape, mp3, m4a, aac, ogg, mp4, mov, wma, avi, mpeg
を含む(制限されていません)	
エクスポートファイルフォーマット:	wav
電源:	9VDC センターマイナス 300mA
(付属のアダプターのご使用を推奨します)	
サイズ:	125mm(L) x 74mm(W) x 49mm(H)
重量:	200g
付属品:	アダプター, USB-C to USB-A ケーブル, クイックガイド

※スペックは予告なく変更されることがあります。